



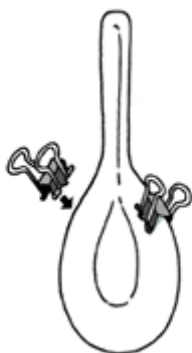
- 用意するもの ▶ グラス
- ▶ れんげ ▶ 皿
- ▶ クリップ(ダブルクリップ)2つ
- ▶ 洗たくばさみ 4つ ▶ 竹ぐし
- ▶ ガーゼ ▶ 水

→注意:水がこぼれることがあります。水でぬれると困る場所では、やらないようにしましょう。

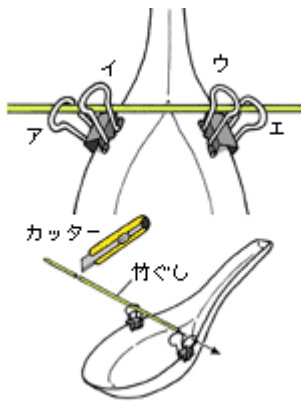


● 作り方

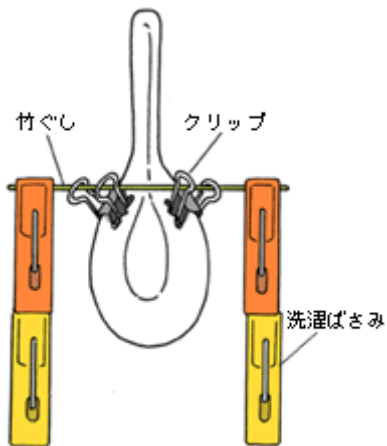
1) 洗たくばさみを絵のように組み合わせたものを、2セット作ります。



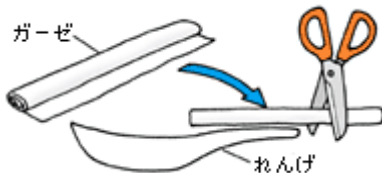
2) クリップ(ダブルクリップ)2つを、れんげに取りつけます(絵の位置ではさむ)。アームの部分は上に折り返したままにしておきましょう。



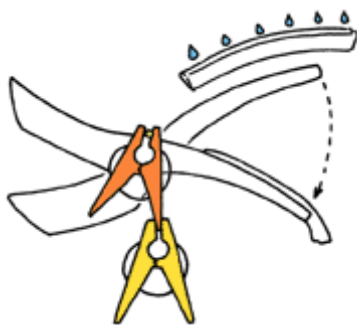
3)クリップのアームの輪に、竹ぐしを通します。アームは4つありますが、図のアとエの2か所だけに通します。竹ぐしのとがった部分は、あらかじめカッターナイフで切っておきましょう。



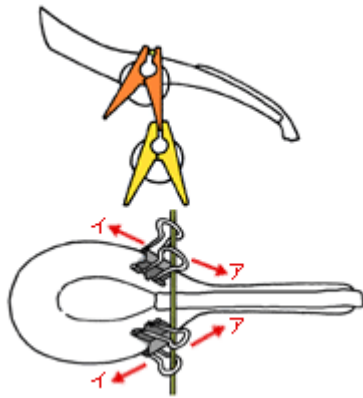
4)竹ぐしの両はしを洗たくばさみではさみます。洗たくばさみをスタンドにして、装置(そうち)全体がちゃんと立つようにします。



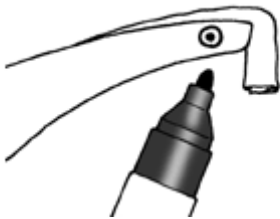
5)ガーゼをストローのように丸めて、四重くらいに重ね合わせます。それを、れんげの柄(え)より少し長めになるように、はさみで切ります。



6)ガーゼを水でしめらせて、れんげの柄の部分にのせます。柄のはしからガーゼが少し出るようにします。

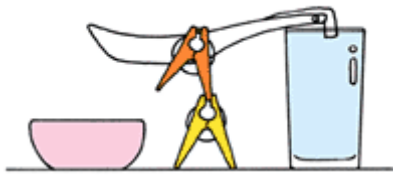


7) れんげが左図のようなかたむきになるように、クリップの位置を調節します。(ガーゼをのせた方が下がりすぎる時は、クリップをアの方向にずらします。反対に、かたむき方が足りない時は、クリップをイの方向にずらします。)



8) れんげの柄が鳥の首、反対側がおしりです。柄の先の方に、油性マジックで目をかくといいですね。

●やり方



1) 水をあふれるくらい入れたコップのふちに、れんげの柄をのせます。コップの水面が、れんげの水のたまる部分より高くなるようにします(コップの下にものを置いて、高さを調整しましょう)。また、コップの反対側には、皿(水受け)を置いておきましょう。



2) やがて、コップの水がガーゼを伝わって、れんげの中にたまっていきます。



3) 1~2分たつと、とつぜん首をもたげて、おしりのほうから水がこぼれます。すると、首が下がり、コップのふちをコンとたたいて元の位置にもどります。この動きをくり返します。

4) コップの水が少なくなったら、足しましょう。

うまくいかない時は、ここをチェックしましょう

- ・れんげに水がたまって、動かない。→れんげの柄のほうが重くなっています。作り方 7)の アの方向にクリップをずらして調整しましょう。
- ・れんげに水がたまると、少しずつ首をもたげていくが、おしっこをした後も元にもどらない。→れんげのおしりのほうが重くなっています。作り方 7)の イの方向にクリップをずらして調整しましょう。